



“チャレンジし続ける” みんなにもできることがあるはず！

◎12月6日(土) 「人権を考える市民の集い」in岸和田製鋼マトカホール

桜台中学校のプラスバンド部の皆さん全盲のドラマー酒井響希さんと共に演しました。

小児がんで2歳で両目を摘出し、4歳でドラムを始めて、東京パラリンピックの閉会式にも出演した酒井響希さん(19歳)。現在は、生活面でも自立し、掃除や洗濯など、自分のことは自分でできるそうです。「子どものやりたいことは全力で応援したい」という両親のもと、「できないことがあっても、できるようになるまで努力する」と前向きな響希さん自身がこれまでの道のりと今の大学生活の様子をお話されていました。ドラムはもちろん、何事にもチャレンジし続ける響希さんの姿勢は、本人以上に障害を受け入れられずにいた両親を励まし、「あきらめたらあかん」と言う思いが響希さんにも伝わっているようでした。響希さんのドラム演奏は素晴らしい、プラスバンドのみなさんの演奏もキレのある華のある演奏でした。



◎12月11日(木) 1年生 人権学習 「壁の乗り越え方」

自称「脳腫瘍アスリート」という壇野俊さんに来ていただき、中学時代から円盤投げの選手として陸上でトップアスリートをめざして、夢が叶いそうになった矢先に脳腫瘍の摘出手術を受け過酷なりハビリを続けて顔面に麻痺は残りながらも10種競技のアスリートとして復活し



たお話をTBSのSASUKEに出演したことや、現在会社を立ち上げ、放課後ディサービス「あ～すり～と」など活躍されているお話を聞きました。後遺症で動けない時があったとは思えないほどの、鍛えられた身体力を見せていただきました。「自分がやりたいことに向けて、恥ずかしがらずに、前に進み続ける」ことが大事だというメッセージをいただきました。

◎12月18日(木) 3年生 人権学習 「部落問題学習」



12月に事前学習を3時間行い、差別や偏見について「アンコンシャス・バイアス」や「マイノリティとマジョリティ」について具体的な例や映像を通して学び、感じたことを毎回振り返りました。そして、特定非営利活動法人「ヒューマン・ライツ・アドバンス・堺」より米川真以先生に来ていただき、体育館でお話していただきました。「人権」とはみんなが「安心」「安全」に暮らすための権利で「人」として幸せに生きるための権利。権利には義務が伴う。というお話から始まり、「わたしのはなし」として中学生・高校生の時に受けた理不尽な差別に苦しみ葛藤したことや結婚差別をはじめ、住んでいる場所や出身校で不当な扱いを受けてつらい思いをする若い世代が今もなお絶えないことをお話しさされました。最後に、「人権」の話は何らかの形でみんなに繋がることで、最近はすごく多様になってきている。いろいろ難しい話ばかりですが、みなさんに伝えたいことは「人を大切」にできる人になってほしい。 というメッセージをいただきました。

◎12月19日(金) 2年生 薬物乱用防止教室

岸和田市の保護司会のみなさんが、違法薬物や脱法ドラッグに巻き込まれる怖さやそれを断る方法を寸劇や映像を交えて教えてくださいました。また、その様子を、桜台中学校区の保護司や更生保護女性会のみなさん、校区小学校の先生方に観ていただきました。岸和田市は大阪府下でも薬物で関係機関に関わる小中学生が多いので、正しい知識を得て薬物を使用することのないようにしてほしいです。

◎12月5日(金) 3年生 デートDVについての学習

ドーン財団(一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団)より川上様と麻生様に来ていただき、デートDVについて教えていただきました。「デートDV」とは交際相手への暴力・暴言のことで、暴力を受けている被害者が「自分が悪いから…」と思い込み辛い思いをするケースが多く、具体的な場面を先生方がカップルを演じてみんなの理解を促しました。

◎12月3日(水) 1年生 非行防止教育

大阪府警察本部生活安全部少年課岸和田サポートセンターの高塚警部補に来ていただき、1年生対象に体育館で非行防止教室をしていただきました。直接的な暴力がどんな刑法上どんな罪になるのかだけでなく、言葉の暴力(SNSいじめ)が集団でのいじめにつながり、LINE等で悪口を書くことは「侮辱・名誉棄損」の罪になり、重大な結果(自傷・自殺)を引き起こすこともあると映像を交えて教えていただきました。また、時々巡回に来られる予定です。

◎12月1日(金) 美化委員会

専門委員会の美化委員会の活動で卒業式・入学式に向けたチューリップの球根を植える活動をしました。冬の寒さを乗り越えて色とりどりの花が咲くのが待ち遠しいです。